

【宮城県内の対策】(12月25日17時現在) 東北森林管理局 宮城北部森林管理署

実施箇所	取組状況
①花山湖上流(一迫川地区)  小川原 大型カゴ枠工完了(9月27日)   河原小屋沢 資材運搬路 工事完了  河原小屋沢 資材運搬路を利用し、 取り残された車両を搬出	【警戒避難支援対策】 ・土石流センサー1基設置 ・7月19日 一迫川地区(切留地区)に簡易伸縮計を2基設置 設置済→降雪期のため撤去 【応急対策】 (一迫川地区(小川原地区) 崩落土砂流出防止対策(土留工)) ・6月23日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 ・7月1日 実施設計調査に着手 ・8月5日 土留工ほか工事着手 ・8月6日 大型カゴ枠工 工事着手 ・9月27日 大型カゴ枠工設置完了 工事完了 【復旧対策】 (一迫川地区(河原小屋沢) 溪間対策(治山ダム)) ・6月27日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 ・7月4日 資材運搬路の実施設計調査に着手 ・7月18日 資材運搬路の実施設計調査終了 ・7月24日 資材運搬路の工事着手 ・11月15日 資材運搬路(3,550m)工事完了 ・11月16日 資材運搬路を利用し、河原小屋林道の奥に取り残されていた車両8台を搬出しました。 ※車両搬出の様子については⑭を参照 工事完了 (一迫川地区(河原小屋沢) 施設復旧対策) ・7月25日 国有林野内直轄治山施設災害復旧事業採択 ・8月5日 治山ダムの実施設計調査に着手 (一迫川地区(湯ノ倉上流) 溪間対策(治山ダム)) ・7月2日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 ・7月11日 実施設計調査に着手 (一迫川地区(切留地区)) ・7月17日 亀裂に雨水が浸透するのを防止するためのブルーシート張りに着手 ・7月22日 ブルーシート張り完了 ・7月25日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 ・8月5日 治山ダムの実施設計調査に着手 (一迫川地区(水無沢)山腹崩壊復旧対策) ・8月8日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 ・9月18日 土留工の実施設計調査に着手 (一迫川地区(小川原①)山腹崩壊復旧対策) ・8月8日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 ・9月18日 法切工の実施設計調査に着手

【宮城県内の対策】(12月25日17時現在) 東北森林管理局 宮城北部森林管理署

実施箇所	取組状況
②花山湖上流〔民有林〕  浅布地区工事状況	【応急対策】 (温湯地区) ・8月13日 山腹工(ロックネット)と崩土除去に着手 ・10月10日 山腹工(ロックネット)設置完了 工事完了 【復旧対策】 (温湯地区・浅布地区・本軽井沢地区) ・7月3日 民有林直轄治山災害関連緊急事業採択 ・7月17日 実施設計調査に着手 ・8月11日 民有林直轄治山災害関連緊急事業採択(復旧工事) (浅布地区) ・11月11日 工事着手 工事中
③国道398号線へ接続する林道の緊急整備 	・被災した国道398号線の緊急復旧工事のための資材運搬路として、鎌内国有林林道を緊急に整備(6月18日より緊急車両(工事車両)通行中) 工事完了
④荒砥沢ダム上流(二迫川地区)  シヅミクラ沢河道掘削工事完了 (11月10日現在の現地の様子) 荒砥沢ダム滑落崖(10月28日)	【応急・復旧対策】 (二迫川地区 地すべり地内の排水工事) ・6月23日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 ・7月1日 工事現場までの仮設道整備開始 ・7月5日 排水工事に着手 ・9月12日 シヅミクラ沢河道掘削工事着手 ・10月20日 シヅミクラ沢河道掘削工事完了 ・10月25日 仮設道工事完了 工事完了 (二迫川地区 ダム上流部の地すべり調査) ・6月27日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 ・7月3日 地すべり調査に着手 (二迫川地区(マダラ沢)土砂流出抑制対策) ・7月25日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 ・8月5日 治山ダムの実実施設計調査に着手 (二迫川地区(小野松沢)土砂流出抑制対策) ・7月25日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 ・8月5日 治山ダムの実実施設計調査に着手

注:下線部は新たな動き

【宮城県内の対策】(12月25日17時現在) 東北森林管理局 宮城北部森林管理署

実施箇所	取組状況
④荒砥沢ダム上流(二迫川地区)(つづき)  荒砥沢ダム監視カメラ画像 (11月21日14:01) ※降雪期に入り、監視機器は撤去しました。	(二迫川地区(シヅミクラ沢)土砂流出抑制対策等) ・8月8日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 ・9月18日 法切工ほかの実施設計調査に着手 (二迫川地区(マダラ沢①)山腹崩壊復旧対策) ・8月8日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 ・9月18日 土留工の実施設計調査に着手 (二迫川地区(ヒアヒクラ沢)山腹崩壊復旧対策) ・9月17日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 ・10月8日 谷止工ほかの実施設計調査に着手 (二迫川地区(荒砥沢ダム上流)大規模地すべりの復旧対策) ・11月25日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択
⑤耕英地区〔民有林〕   人家の下方にある滑落崖を安定化させる吹付砕工が完成	・7月3日 民有林直轄治山災害関連緊急事業採択 ・7月13日 専門家による現地調査 ・7月17日 実施設計調査に着手 ・8月11日 民有林直轄治山災害関連緊急事業採択(復旧工事) ・10月21日 宮城県・栗原市との合同踏査を実施 ・11月1日 工事着手(吹付砕工・資材運搬路) ・12月16日 資材運搬路を利用し、耕英地区に最後まで取り残されていた車両1台を搬出しました。 ※車両搬出の様子については⑭を参照 工事中
⑥(市道)馬場駒の湯線の整備 	荒砥沢ダム上流部の復旧対策のほか、孤立化した集落(栗原市耕英地区)への通行確保にも資する(市道)馬場駒の湯線の崩土を除去(国有林に接する部分の崩土除去を6月22日完了) 工事完了

【宮城県内の対策】(12月25日17時現在) 東北森林管理局 宮城北部森林管理署

実施箇所	取組状況
⑦栗駒ダム上流(三迫川地区)  放森地区	【警戒避難支援対策】 ・土石流センサー1基設置 設置済→降雪期のため撤去 【応急・復旧対策】 (放森地区)〔民有林〕 ・7月4日 応急対策として大型土のう積工に着手 ・7月10日 国有林側への据付完了(330個) ・7月15日 県道沿いの据付完了(120個) 工事完了
⑦栗駒ダム上流(三迫川地区)(つづき)   柳沢崩壊地	(三迫川地区(行者の滝)山腹崩壊復旧対策) ・8月8日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 ・9月18日 土留工ほかの実施設計調査に着手 (三迫川地区(ドゾウ沢)土砂流出抑制対策) ・8月8日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 ・9月18日 治山ダムの実施設計調査に着手 (三迫川地区(岩ノ目沢)土砂流出抑制対策等) ・8月8日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 ・9月18日 谷止工ほかの実施設計調査に着手 (三迫川地区(栗駒ダム脇)山腹崩壊復旧対策) ・8月8日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 ・9月18日 法枠工ほかの実施設計調査に着手 (三迫川地区(日影森)土砂流出抑制対策) ・8月8日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 ・9月18日 谷止工の実施設計調査に着手 (三迫川地区(三迫川)土砂流出抑制対策等) ・8月8日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 ・9月18日 谷止工ほかの実施設計調査に着手 (三迫川地区(放森上流)山腹崩壊復旧対策) ・8月12日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 ・9月18日 土留工の実施設計調査に着手 (三迫川地区(柳沢)山腹崩壊復旧対策) ・9月17日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 ・10月8日 排土工ほかの実施設計調査に着手

【宮城県内の対策】(12月25日17時現在) 東北森林管理局 宮城北部森林管理署

実施箇所	取組状況
⑧栗駒ダム下流(三迫川地区) 	(三迫川地区(栗駒ダム下流) 山地崩壊復旧対策) ・7月25日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 ・8月5日 法枠工ほかの実施設計調査に着手 ・11月7日 工事着手(法枠工) 工事中 (三迫川地区(栗駒ダム下流①)山腹崩壊復旧対策) ・8月8日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 ・9月18日 法枠工ほかの実施設計調査に着手
⑨栗駒ダム上流〔民有林〕 	(洞万・日影森地区) ・7月3日 民有林直轄治山災害関連緊急事業採択 ・7月17日 実施設計調査に着手 ・8月11日 民有林直轄治山災害関連緊急事業採択(復旧工事) (日影森地区) ・11月8日 工事着手(大型カゴ枠工、木柵工) 工事中
⑩北鬼首地区(根松)  根松被災状況	(北鬼首地区(根松)山腹崩壊復旧対策) ・8月8日 国有林野内直轄治山災害関連緊急事業採択 ・9月18日 吹付工ほかの実施設計調査に着手
⑪県道築館栗駒公園線(行者滝周辺)  行者滝の復旧後の様子(10月30日)	【応急・復旧対策】 ・流木による二次災害を防ぐため、行者滝周辺の倒木等処理 ・7月15日 落合橋付近の倒木処理を実施 工事完了

【宮城県内の対策】(12月25日17時現在) 東北森林管理局 宮城北部森林管理署

実施箇所	取組状況
⑫林道の復旧事業  金山林道(鬼首地区)二段式擁壁工完了 (12月24日の様子)  林道復旧作業(伊豆根林道)(12月24日)	【応急・復旧対策】 ・7月8日 国有林林道3路線の林道施設災害復旧事業採択 (揚石林道、マダラ沢林道、山王林道) ・7月29日 国有林林道4路線の林道施設災害復旧事業採択 (揚石林道、マダラ沢林道、岩ノ目林道、伊豆根林道) ・7月31日 国有林林道2路線の林道施設災害復旧事業採択 (金山林道、大荒沢林道) ・8月19日 マダラ沢林道の工事着手(モルタル吹付等) ・8月22日 揚石林道(ブロック擁壁)、伊豆根林道(二段式擁壁)、金山林道(鬼首地区・二段式擁壁等)、山王林道(鬼首地区・ブロック擁壁)の復旧工事着手 ・11月14日 山王林道(鬼首地区)のブロック擁壁工完了 ・12月2日 国有林林道2路線の林道施設災害復旧事業採択 (ヒアヒクラ沢林道、河原小屋林道) ・12月4日 国有林林道1路線の林道施設災害復旧事業採択 (マダラ沢林道) ・12月19日 金山林道(鬼首地区)の二段式擁壁工完了 (再掲) ○マダラ沢林道、揚石林道、伊豆根林道、金山林道 工事中 ○山王林道(鬼首地区)、金山林道(鬼首地区) 工事完了
⑬国有林における裏山対策  合同現地調査(10月22日)	・国有林の裏山対策(人家等近くの国有林の被災地の応急対策)のための調査を7月16日までに、花山地区・栗駒地区の6箇所を実施し、崩落やクラック等の被害状況を把握しました。その結果、放森地区において県道への土砂の流入を防ぐため大型土のう積工を実施した他、切留地区において亀裂に雨水が浸透するのを防止するためブルーシート張り等の応急対策を実施。(詳細は①花山湖上流、⑦栗駒ダム上流の項目をご覧ください) ・10月22日 栗原市による今後の復興対策の検討に資するため、専門家による合同現地調査を東北地方整備局・宮城県と合同で実施。 国有林及び民有林の危険箇所のうち、特に判断の難しい箇所などについて対策の必要性を検討しました。

【宮城県内の対策】(12月25日17時現在) 東北森林管理局 宮城北部森林管理署

実施箇所	取組状況
⑭現地調査等の結果  	・花山湖上流・荒砥沢ダム上流・栗駒ダム上流の現地確認(12月24日)を実施しましたが、前回に比べ、新たな山腹崩壊の発生はみられませんでした。 ・12月20日 第8回山地災害対策検討会を開催しました。 <u>荒砥沢地すべりについての対策を含め、岩手・宮城内陸地震による山地災害に係る治山計画のとりまとめが行われました。</u> ・12月16日 宮城県・栗原市・工事請負業者の協力の下、耕英地区の治山工事用の資材運搬路を利用し、耕英地区に最後まで取り残されていた車両1台を搬出しました。 ※耕英地区の資材運搬路については⑤を参照
⑮お知らせ	・降雪期に入るため、土石流センサー及び監視カメラ等については、全てを11月30日で撤収しました。